

●ロシア

2022年のロシア経済

ロシアによるウクライナへの侵攻とこれに対する西側諸国による経済制裁はロシア経済に対して負の影響を与えている。ただし、その度合いは春先に国内外で予想されたほどではない。

四半期ごとのGDP成長率(前年同期比)は、戦争開始前を含む第1四半期こそ3.5%のプラスだったが、第2、第3四半期はそれぞれ4.1%、3.7%のマイナス成長となった。第4四半期、そして通年でもマイナス成長となることは確実である。ロシア中央銀行が外部エコノミストを対象に行っているコンセンサス調査では、12月時点での2022年経済成長率予測はマイナス2.9%となった。ロシア中銀自体の予測は、2022年10月時点でマイナス3.5～3.0%であったから、直近のエコノミストらの予測はそれよりも楽観的である。さかのぼって、IMFの4月時点での予測(マイナス8.52%)、世界銀行の6月時点での予測(マイナス8.9%)を思い起こすと、ロシア経済はかなり持ちこたえていると言えよう。

1～11月の主要産業の生産動向を見ても、全体として低調であることは確かだが、意外と健闘している分野がある。鉱工業生産全体では、前年同期比マイナス0.1%となっているが、鉱業だけを取り出すとプラス1.1%となっている。原油生産量が2.2%増加していることなどが寄与している模様だ。これに対して、製造業の1～11月の生産は前年同期比0.8%のマイナス

であった。特に落ち込みが大きいのは自動車産業で、マイナス44.4%もの大幅減となっている。主要な外資自動車メーカーがロシアでの生産を停止、撤退したことの影響が如実に表れ、1～11月の乗用車生産台数は前年同期の3分の1にまで減少した。他方で、輸入代替が起こったと思われる製品群もある。コンピューターや電子・光学機器の生産が4.0%増加した他、飲料が3.3%、衣類が1.3%、それぞれ増加した。このほか、農業生産も4.7%増加した。

国民の消費動向にもバラツキが見られる。春以降、小売売上高が対前年同月比でマイナスを続けているのに対し、サービス売上高はプラスを維持している。例えば、交通サービスの売上高は、1～11月の累計で対前年同期比4.1%増加した。

消費者物価は4月ころまで急速に上昇したこともあり、11月末時点の消費者物価は前年末と比べて11.1%高い水準にある。ただし、消費者物価の動向は夏以降落ち着いている。その背景として、通貨ルーブルの為替レートが比較的高い水準で安定していることが指摘できる。

2023年連邦予算

ロシア政府は毎年秋に翌年以降3か年の中期経済見通しを作成し、これに基づいて3か年予算を編成して、年内に予算法として成立させる。2022年9月にロシア政府が発表した経済見通しでは、2023年度の経済成長率をマイナス0.8%としている。原油価格が低下すること、天然ガス輸出量が減少することなどから輸出総額

は2022年よりも減少すると予測している。

こうした経済見通しの下、2023年の連邦予算はGDPの2.0%に相当する赤字を見込んでいる。歳入面において、石油や天然ガスの採掘税や輸出税などを原資とする「石油ガス歳入」が減少(GDP比2.0%相当)する影響が大きい。歳出面では、「国家安全保障・治安維持」が2022年のGDP比1.9%相当から同2.9%相当へと大きく増えることが際立つ。これとは別に、国防費(同3.3%相当)が計上されており、まさしく「戦時財政」を組んでいると言えよう。赤字の補填には、主に国民福祉基金からの繰り入れと国債発行を活用する計画である。国民福祉基金残高は、2021年末時点で対GDP比10.4%あったが、2年続けて赤字補填のために取り崩すことで、2023年末には同4.2%まで減少する見込みである。

なお、これらの経済見通しや予算は、政府公式の立場を公表したものであり、厳しい現実を糊塗して、国民や外国向けに外面を取り繕ったものと考えるのが妥当であろう。例えば、2023年のウラル原油の平均価格を1バレル70.1ドルと予測しているが、2022年12月には西側諸国が1バレル60ドルという上限価格を設定し、現実に同月のウラル原油の平均価格は60ドルを下回っている。このままいけば財政赤字が予算より拡大し、経済の落ち込みも大きくなるだろう。

ERINA 調査研究部長・主任研究員
新井洋史

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
GDP・実質成長率 (%) ⁽¹⁾	4.0	1.8	0.7	▲ 2.0	0.2	1.8	2.8	2.2	▲ 2.7	4.7
固定資本投資・実質増減率 (%) ⁽¹⁾	6.8	0.8	▲ 1.5	▲ 10.1	▲ 0.2	4.8	5.4	2.1	▲ 0.5	7.7
鉱工業生産高・実質増減率 (%) ⁽²⁾	3.4	0.4	2.0	0.2	1.8	3.7	3.5	3.4	▲ 2.1	6.4
輸送貨物量・実質増減率 (%) ⁽¹⁾	2.9	0.6	▲ 0.1	0.6	1.8	5.6	2.7	0.8	▲ 4.9	5.6
小売売上高・実質増減率 (%) ⁽¹⁾	6.3	3.9	2.7	▲ 10.0	▲ 4.8	1.3	2.8	1.9	▲ 3.2	7.8
サービス売上高・実質増減率 (%) ⁽¹⁾	3.7	2.1	1.3	▲ 2.0	▲ 0.3	0.2	3.2	1.7	▲ 14.6	16.7
実質貨幣可処分所得・増減率 (%) ⁽¹⁾	4.6	4.0	▲ 1.2	▲ 2.4	▲ 4.5	▲ 0.5	0.7	1.2	▲ 2.0	3.0
消費者物価 (%) ⁽³⁾	6.6	6.5	11.4	12.9	5.4	2.5	4.3	3.0	4.9	8.4
輸出額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁴⁾	524.7	526.0	497.4	343.5	285.7	357.3	450.3	424.3	337.1	491.6
輸入額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁴⁾	317.3	315.3	287.1	182.9	182.4	227.9	238.7	244.6	231.7	293.4
為替相場 (ドル/ルーブル) ⁽⁵⁾	30.4	32.7	56.3	72.9	60.7	57.6	69.5	61.9	73.9	74.3
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) ⁽⁶⁾	111.6	108.6	99.0	52.3	43.6	54.1	71.3	64.3	42.0	70.9

	2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
GDP・実質成長率 (%) ⁽¹⁾	▲ 0.3	10.5	4.0	5.0	3.5	▲ 4.1	▲ 3.7	
固定資本投資・実質増減率 (%) ⁽¹⁾	3.3	11.0	7.9	7.6	12.8	4.1	3.1	
鉱工業生産高・実質増減率 (%) ⁽²⁾	▲ 0.3	11.1	7.1	7.9	5.1	▲ 2.5	▲ 1.3	
輸送貨物量・実質増減率 (%) ⁽¹⁾	0.5	10.2	7.0	4.8	4.2	▲ 3.0	▲ 5.5	
小売売上高・実質増減率 (%) ⁽¹⁾	▲ 1.4	24.3	5.9	4.7	3.5	▲ 9.8	▲ 9.4	
サービス売上高・実質増減率 (%) ⁽¹⁾	▲ 3.2	53.2	16.4	12.6	7.8	0.0	1.3	
実質貨幣可処分所得・増減率 (%) ⁽¹⁾	▲ 4.0	7.0	8.9	0.0	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 3.4	
消費者物価 (%) ⁽³⁾	5.6	6.0	6.8	8.3	11.5	16.9	14.4	
輸出額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁴⁾	93.7	115.4	131.9	150.6	-	-	-	
輸入額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁴⁾	62.4	74.1	75.1	81.8	-	-	-	
為替相場 (ドル/ルーブル) ⁽⁵⁾	75.5	73.4	73.2	73.3	81.8	51.6	59.7	
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) ⁽⁶⁾	60.8	68.8	73.5	79.6	100.3	113.5	100.7	

2021		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
経済基礎部門商品・サービス生産高 ⁽⁷⁾		▲1.5	▲2.1	3.4	13.7	14.3	11.3	6.2	4.0	4.1	6.0	7.0	5.6
鉱工業生産高・実質増減率 (%) ⁽²⁾		▲1.6	▲2.4	2.9	9.0	13.1	11.5	7.9	5.6	7.9	8.3	7.9	7.5
輸送貨物量・実質増減率 (%) ⁽¹⁾		▲2.1	▲0.6	4.1	6.3	11.4	13.3	9.5	6.2	5.4	5.9	5.7	2.9
小売売上高・実質増減率 (%) ⁽¹⁾		1.1	▲0.7	▲2.5	36.3	28.0	11.5	5.7	5.8	6.2	4.6	3.6	5.6
サービス売上高・実質増減率 (%) ⁽¹⁾		▲8.9	▲5.3	4.7	59.8	60.2	41.2	21.9	15.2	12.7	13.0	14.0	10.9
消費者物価 (%) ⁽³⁾		0.7	0.8	0.7	0.6	0.7	0.7	0.3	0.2	0.6	1.1	1.0	0.8
輸出額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁴⁾		27.0	30.2	36.5	36.9	35.3	43.2	43.4	43.0	45.4	46.1	47.7	56.8
輸入額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁴⁾		16.8	20.6	25.0	25.3	23.9	24.8	25.4	25.1	24.6	25.6	26.8	29.4
為替相場 (ドル/ルーブル) ⁽⁵⁾		76.3	74.4	75.7	74.4	73.6	72.4	73.1	73.6	72.8	70.5	75.0	74.3
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) ⁽⁶⁾		54.8	62.3	65.4	64.8	68.5	73.2	75.2	70.8	74.5	83.5	81.1	74.2

2022		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
経済基礎部門商品・サービス生産高 ⁽⁷⁾		7.7	4.8	1.6	▲2.9	▲3.5	▲4.7	▲2.9	▲1.5	▲3.5	▲3.2	▲2.5	
鉱工業生産高・実質増減率 (%) ⁽²⁾		8.0	5.4	2.3	▲2.6	▲2.4	▲2.4	▲0.5	▲0.1	▲3.1	▲2.6	▲1.8	
輸送貨物量・実質増減率 (%) ⁽¹⁾		7.8	1.1	3.6	▲1.4	▲1.8	▲5.8	▲5.2	▲4.1	▲7.1	▲6.7	▲5.7	
小売売上高・実質増減率 (%) ⁽¹⁾		3.1	5.5	2.0	▲9.8	▲10.1	▲9.6	▲9.0	▲9.1	▲10.2	▲10.0	▲7.9	
サービス売上高・実質増減率 (%) ⁽¹⁾		11.6	8.2	4.0	0.9	1.2	1.5	1.6	3.5	1.1	1.5	2.0	
消費者物価 (%) ⁽³⁾		1.0	1.2	7.6	1.6	0.1	▲0.3	▲0.4	▲0.5	0.1	0.2	0.4	
輸出額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁴⁾		45.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
輸入額 (10億ドル、通関データ) ⁽⁴⁾		23.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
為替相場 (ドル/ルーブル) ⁽⁵⁾		77.8	83.6	84.1	71.0	63.1	51.2	61.3	60.4	57.4	61.5	61.1	
原油価格 (ブレント、ドル/バレル) ⁽⁶⁾		86.5	97.1	117.3	104.6	113.3	122.7	111.9	100.5	89.8	93.3	91.4	

出所・注：

- 『ロシア短期経済指標 (2022年11月)』 (2022年12月29日) の数値。
- 『ロシア短期経済指標 (2022年11月)』 (2022年12月29日) の数値。
- OKVED・第2版の産業部門分類 (2018年価格) に基づく。『ロシア短期経済指標 (2022年11月)』 (2022年12月29日) の数値。四半期データは前年同期比で、ロシア連邦統計庁ウェブサイト掲載値 (2022年10月12日更新)
- ロシアは2022年2月以降、通関統計の公表を取りやめている。2022年1月分はロシア連邦税関 (2022年3月10日公表値)、それ以外はロシア連邦統計庁の既報値。
- 年次・月次データは、期末の数値。四半期は月次データの単純平均値。『ロシア短期経済指標 (2022年11月)』 (2022年12月29日) の数値。
- スポット価格。四半期データは月次データの単純平均値。アメリカ合衆国エネルギー省 (2022年12月29日更新値)。
- 前年同月比増減率 (%)。ロシア連邦統計庁の公表値 (2022年12月28日)。